

立体映像のデザイン及び その評価に関する研究



情報システム工学講座
講師 木下 史也

研究分野

人間工学、生体医工学、信号処理、非線形科学

研究内容

立体映像はその視聴画像や視聴条件などにより、頭痛や嘔吐、眼疲労などの不快症状を引き起こします。本研究では立体映像が引き起こす映像酔いを定量的に評価し、また、立体映像の新しい利活用について研究を行っています。

私の研究のポイント

本研究室では、立体映像の視聴が引き起こす不快感について、視線計測や重心動揺、胃電図、局所脳血流量などを用いて実験を行っています。その過程で立体映像の視聴中は後頭葉だけでなく前頭葉の局所脳血流量を増大させることを発見しました。この結果を踏まえ、現在では新しい認知機能トレーニングとして奥行き知覚を訓練するビジョントレーニングシステムの開発を行っています。また、これらの生体計測技術を活かした様々な研究テーマに取り組んでいます。

REPORT リポート

